

Pick Up New publication

町立 指江図書館

TEL0996-88-6500



「華蓮ちゃんさいごの家族旅行」 写真・文 國森 康弘

いのちつぐ「みとりびと」シリーズ。大切な人たちに囲まれたあたたかな看取りによって、いのちのバトンはずっと受けつがれていきます。

町立 鷹巣図書館

TEL0996-86-1111



「わたしのそばで きいていて」 リサ・パップ 作

としょかんであった犬がおしえてくれた「まちがえたってだいじょうぶだよ」って。外国のとしょかんにじっさいにいる犬たちのお話。

町立図書館おすすめ

図書館においてある本の中から おすすめのものを選びました。バラエティに富んだ本を紹介します。

長島文芸

Nagashima Bungai ながしまぶんげい

長島短歌会

新しき柱時計に点りたるひかりは眠れる吾を照らさむ 松元 睦子  
十六夜の月を隠せる流れ雲見上げてをりぬわつみ更けて 岩下 ち江  
天草の峠より見る里の島不知火の海の続きに際立つ 岩下 房代

中学われは藪に隠ししきつま芋蟻払い食みし戦後の下校時 榎平 頼子  
稲架掛けの雨に遭はざる甘き香の稲わら積みぬ梁の高さに 米尾 和子

うから逝き吾のみぞ知る銘仙の母の形見に袖通しみる 坂之下典子  
海棠の枝に糸瓜の蔓絡み数多の花と若実も揺るる 中山タマエ

雨止みて風ぐ海原に黒々と秋に移りし甌島見ゆ 濱田美代子  
七十年通ひ馴れたる沢の道わが老いの影土にしみてみん 浜畑 松枝

明神俳句会

白雲の流るる岬菜を問引く 淵脇 護  
秋の夜や漁師酔ひたる村酒場 関 佳代美  
ふかし芋母は戦後を語りだす 白男川孝仁  
病みて知る人のやさしさこぼれ萩 筑前 初市  
狐火や電報配達深夜2時 大堂 早苗  
秋天や丈越す太鼓打つ女 脇田 武志  
豊なる長島大陸小菜問引く 二階堂妙子  
虫すだくうの音色更けてゆく 迫口 君代  
秋晴や威風堂々豪華船 大堂 正弘

創世短歌会

走り寄り孫に仕へる秋日和 山寄加代子  
海青く沖の白波鯛雲 坂口 静子  
秋思かな病室の眼は見送らず 山田 哲夫

一般作品

納骨堂の湯呑に蓋はかぶせないあなたがいつでも 石原百合子  
飲めるかたちに 野村 益信  
思ふことみなはかなくて夜の更を車の過ぐる音の聞ゆる 村上 義彦  
揺られりてもの思いもなきバスの中身の弱るとき 山下 学  
魂も病む 大塚 洋子  
峡の田に夕日は淡く及びつつ薫焼く煙立ち上る見ゆ 学

「短歌」

神無月尽きむとするに鳥たちも声高々とひびき渡らす 宗方 清明

萩の影暮れていよいよ星の空忘れづ咲きて見れる 幸せ 中仮屋辰子  
紫尾の湯は肌にジンジン沁み入りて熱さガマンの百を数える 小林 貢  
一雨の降るごと覚ゆ冷たさに秋ぞ深まり亡き人恋し 小林 如月  
寅さんの背広の色になってきて旅に出るのかメタセコイアも 母木 良平  
振り返り我れ人生を思い出す手直しするや名を残す 町田 末則